

Press Release

報道関係者各位

千葉県流山市 報道官

平成24年2月1日

Thinking Education? Think Nagareyama city!

～流山市が首都圏44駅に大型駅貼り広告を展開～

千葉県流山市（井崎義治市長）は、2月に首都圏44駅で流山市の大型（B0:1030×1456）駅貼り広告と、東京メトロ千代田線で車内広告を実施する。

流山市が首都圏駅に大型駅貼り広告を行うのは、一昨年秋葉原駅、昨年「母になるなら流山市。」というキャッチコピーで新聞・雑誌等に取り上げられた駅貼り広告に続き、3回目となる。昨年は25駅掲出だったものを、今年は約2倍の44駅と大幅に箇所を増やす。

首都圏駅広告は都心からわずか20分のアクセスと豊かな森や公園が点在する「都心から一番近い森のまち」流山市の首都圏での認知向上とイメージアップをねらいとして継続して行っているシティセールスのひとつ。昨年は、首都圏からの反応はもちろん、首都圏に勤務している流山市民からも“市に住まうことの誇り”につながるとの反響が多く、副次的効果を確認している。

つくばエクスプレス開業6年を過ぎ、市に転入した30歳代で小さな子どもを持つファミリー層の子どもも小学生を迎える。これから住む人、すでに住んでいる人の今後のニーズに照準を当てて、“学ぶ子にこたえる”を今年の広告のメインテーマに盛り込んだ。流山市は、市内小中学校の英語の授業にネイティブの教員や専門指導員を増員したり、小中学校の連携や併設校の新設を進める等、子どもたちの学ぶ意欲を引き出し、成長をサポートする教育コンテンツや体制を強化していくため、この首都圏駅広告は、いわば“学び元年”宣言でもある。

撮影は、外国語指導助手（現在、市で7名所属）が、市内小学校3年生の子どもたちに教える実際の英語授業の中で行われた。リアルなドキュメント感にもこだわった。

<プレスリリースについてのお問い合わせ>

千葉県流山市 マーケティング課 04-7150-6308

market@city.nagareyama.chiba.jp